



いよいよ夏休みが始まります。夏休みはご家族と過ごす時間が増えます。ふれあいを大切に、お子さんやご家族にとって、思い出に残る夏休みとなることを願っています。

《おうちの方へ》

- 長期休みに入ります。夏休みの過ごし方についてお子さんとよく話し合い、安全で規則正しい生活ができるように心がけてください。また、交通事故や水難事故などには十分気を付けられるよう、お願いいたします。
- 学校で育てている野菜の植木鉢を7月18(金)～28日(月)の間に持ち帰り、お家で世話をお願いします。また、食育としても、収穫を楽しんでいただき、一緒に調理したり食べたりするなどしていただけるとよいと思います。収穫が終わった後は、植木鉢を空にし、3年生になるまで各ご家庭で保管してください。**鉢植えは、3年生でも使用します。**ご面倒をおかけしますが、よろしくお願いいたします。
- お子さんも大事な家族の一員です。毎日、継続してできるようなお手伝いをさせてください。お手伝い後には、感謝や労いの言葉をかけ、「自分は役に立っている。」という思いや、「自分にもできる。」という思いをもたせられるようにしてあげてください。
- 長い休みですので、普段の生活では得られない経験ができるチャンスです。水泳・絵画・工作・音楽など得意なこと・興味のあることを伸ばしたり、苦手なことに挑戦したりするよい機会です。是非、お子さんの成長を近くで応援し、見届けていただきたいと思えます。
- 「サマー32」付属の「まいにちにっき」は、「1日のよてい」「夏休みにがんばりたいこと」「夏休みのやくそく」を一緒に考え、記入させてください。毎日、1行日記を書くことで規則的な生活を送ることへの意識づけをお願いします。1行日記の上部にある「夏休みの思い出を絵と文でかこう！」も夏休み明けに、夏休みの出来事を伝え合う活動につなげたいと思えますので、忘れずに取り組みをお願いします。
- 「サマー32」付属の「絵日記(2枚)」のうち1枚は絵日記、もう1枚は夏の生き物観察カードとして使用してください。絵日記は、付属の「絵日記の書き方」を参考にしてください。
- 「サマー32」「かん字・計算ブック」は、学習したら一緒に答え合わせ・丸付けをしてください。間違いがあったら、すぐに直し正しく覚えるようご支援ください。
- 持ち帰った物は点検・整理・掃除・補充をしてください。
(道具箱、色鉛筆やクーピー、クレヨン、のり、油性ペン、絵の具セット、鍵盤ハーモニカなど)
- 用事がある、学校に来るときは、平日の8時10分から16時40分の間をお願いします。土曜日と日曜日はお休みです。なお、8/13～8/16は、学校業務休止日となります。
- 長期にわたる怪我や病気、事故などの場合は、必ず学校までご連絡ください。(峰小学校 633-3973)
- 8月の集金はありません。

授業開始 8月29日(金) A日課・4時間授業(13時55分下校)

【持ち物】

- ・連絡帳 ・筆入れ ・金曜日の学習 ・雑巾2枚(記名しない) ・上履き ・体育着 ・頭おおい
- ・給食セット(ランチマット・歯ブラシ・コップ) ・給食白衣(当番だった人)
- ・予備のマスク(給食当番や体調不良の時などに使用します。ランドセルに予備のマスクを入れておいてください。)
- ・タブレット(月曜日までに持たせてください。)
- ・「サマー32」「かん字・計算ブック」(丸付けをお願いします。)
- ・「まいにちにっき」 ・「絵日記(2枚)」
- ・「うち読!感想カード」 ・夏休みに学習したもの
- ・作品 (提出期限が決まっております。遅れたものは出品できませんので、初日に必ず持たせてください。また、どの課題に出品するか分かるようにして、提出してください。)

なつ休みの生活

- きそく正しい生活をしましょう。
- 水えいや川あそびをするときには、かならず大人の人といっしょに行き、水のじこに気をつけましょう。
- こうつうルールをまもり、こうつうじこには、じゅうぶん気をつけましょう。
- 水えい、ラジオ体操、てつぼうなど、いろいろなうんどうにちょうせんし、体力作りをしましょう。
- 家のお手伝いをしましょう。
- 午前10時まではあそびに行きません。午後5時までには、家に帰りましょう。
- あそびに行くときは、どこで、だれとあそぶのか、何時にかえるのかを、家の人につたえてから出かけましょう。出かけるときには、「ぼうはんブザー」をもちあるくようにしましょう。

なつ休みの学しゅう

☆かならずやるもの☆

① 「サマー32」「かん字・計算ブック」

- ・お家の人に丸つけをしてもらって、まぢがいはきちんとその日のうちに、なおしましょう。
- ・算数7(水のかさのたんい)は、夏休み後にやります。やらなくてよいです。

② 「まいにちにっき」(まい日書くものです。)

- ・「1日のよてい」「なつ休みにがんばりたいこと」「なつ休みのやくそく」はお家の人ときめましょう。「なつ休みの思い出をえと文でかこう!」もわすれずに書きましょう。
- ・ていねいな字で書き、文字のまぢがいがいいか、お家の人に読んでもらいましょう。

③ え日記 2まい

- ・1まい目は、なつ休みの思い出絵日記として、2まい目は、なつの生きものかんさつカードとしてつけてください。

④ 音読

- ・今までに学しゅうしたところを音読してカードにきろくしましょう。つづけてできるといいですね。

⑤ 読書 4さつ以上

- ・なつ休みようになりた本4さつをじっくり読んでみましょう。ほかのとしょかんでも本をかり、たくさん本を読めるといいですね。みね読書人のきろくをわすれずにしましょう。

- ・「うち読!感想カード」に取り組み、自分とお家の人のかんそうを書いて、ていしゅつしましょう。

⑥ スマイルネクストドリル

- ・なつ休みまでにやったところ、なつ休みのかだい(課題のところから入れます。)をやりましょう。

⑦ 野さいのせわ・かんさつ

- ・タブレットでしゃしんをとって、スクールタクトに記ろくをつづけましょう。

☆えらんでやるもの☆

○ コンクールへのさんか(どれか1つ以上)

- ・えやこうさく、作文などから、えらんでチャレンジしてみましょう。「りかけんきゅう」もあります。
※ジュニア芸術祭(国語)は、下野教育書道展に出品する作品の中から選考する予定です。
※読書かんそう文は、「読書かんそう文の書き方」のプリントをつかってみるといいですね。

○ 今までの学しゅうのふくしゅう

- ・かん字のれんしゅう(今までにならったかん字)や、カタカナのれんしゅう
- ・算数のふくしゅう(くり上がりのあるたしざん、くり下がりのあるひきざん、時こくと時間、長さなど)
- ・けんぱんハーモニカ「かえるのがっしょう」「かっこう」「ドレミのトンネル」
(ゆびづかみやタンギングに気をつけてふいてみましょう。)

※ そのほか

- ・学しゅうようぐやえのぐ、おどうぐばこの中に入れるもの(色えんぴつ・クーピー・クレヨン・のりなど)で、たりなくなったものはそろえておきましょう。